30cm壁掛扇保証書

本書は、お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
 (ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社ユーイングにご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ユーイングへご連絡ください。
4.保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 (イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 (ロ)お買上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷。
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、 ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 (ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 (ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
 (ヘ)本書のご提示のない場合。
 (ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
6.本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

品　　　番	MF-WR30D		
保　証　期　間	対　象　部　分	期間（お買上げ日より）	保 証 の 条 件
	本　体	1　　年	持 込 修 理
お 買 上 げ 日	年　　月　　日		
お　客　様	お名前 ご住所 電　話　　　　様		
販　売　店	販売店名 ご住所 電　話　　　　印		

株式会社ユーイング

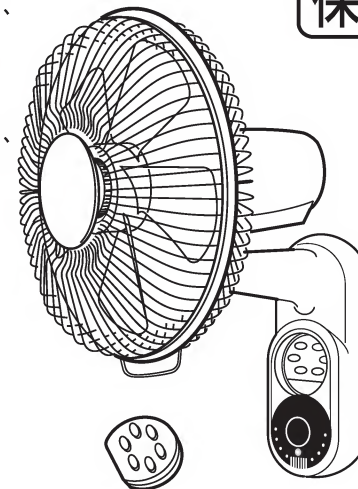
【お客様相談室】TEL 0120-911-597(無料)

〒639-1124　奈良県大和郡山市馬司町800番地

受付け時間　：　月曜日から金曜日(祝日・当社休日は除く)午前9時〜午後5時

MORITA 30cm壁掛扇 取扱説明書

品番 MF-WR30D

このたびは、扇風機をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

保証書添付

8時間切タイマー / リズム風 / おやすみ風 / マイコン / リモコン / マイナスイオン

愛情点検　長年ご使用の扇風機の点検を!!

ご使用の際このような症状はありませんか？

・電源を入れても、動かないときがある。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・運転中に異常な音や振動がする。
・こげ臭いにおいがする。
・差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
・その他の異常、故障がある。

ご使用中止
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

仕様

品　　番		MF-WR30D	
電　　圧	(V)	100	
周 波 数	(Hz)	50	60
消費電力	(W)	43	47
回 転 数	(r/min)	1150	1120
風　　速	(m/min)	175	175
風　　量	(m^3/min)	49	46
首振角度	(度)	75	
コ ー ド	(m)	ビニルコード　1.8	
質　　量	(kg)	2.7	

●この製品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY .

1112-1

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

この扇風機は、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の２つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告　取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意　取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

表示の例

■お守りいただく内容の種類を､絵記号で区分し説明しています｡(下記は絵記号の一例です｡)

この記号は、してはいけない『禁止』内容です。

この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は､お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

製品に異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
●ケガや発火の原因になります。

分解禁止
絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●異常動作してケガや発火の原因になります。

禁　止
本体にぶらさがらないでください。
●ケガの原因になります。

禁　止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

禁　止
交流100V以外では使用しないでください。
●異常発熱して、火災の原因になります。

禁　止
羽根、ガードをつけずにモーターを運転しないでください。
●ケガの原因になります。

本体の取り付けは、十分強度のあるところに確実に行ってください。
●落下によるケガのおそれや羽根割れなどの故障の原因になります。
※「正しい取り付け方」をご覧ください。

プラグを抜く
お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。

ぬれ手操作禁止
ぬれた手で抜き差ししないでください。
●不意に作動して、ケガをしたり、感電の原因になります。

禁　止
電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。
●感電･ショート･発火の原因になります。

禁　止
コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください｡また､差込みプラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させないでください。
●感電･ショート･発火の原因になります。

水ぬれ禁止
水につけたり、水等をかけたりしないでください。
●ショート・感電のおそれがあります。

注意

禁　止
風を長時間、からだにあてないでください。
●健康を害することがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。

禁　止
スプレーをかけないでください。
(殺虫剤、整髪用、掃除用等)
また、油や薬品のかかる場所で使用しないでください。
●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。

禁　止
次の場所では、使用しないでください。
(ガスレンジ等の炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所)
●炎の立ち消え、引火・爆発やショートして火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

可動部へ接触禁止
ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。特に移動する際にはご注意ください。
●ケガの原因になります。

禁　止
障害物 (カーテン等) の周囲や不安定な場所で使用しないでください。
●破損や故障の原因になります。

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止してください。
●落下により、ケガをするおそれがあります。

禁　止
扇風機カバーをご使用の場合、ホコリ等がつまった状態で使用しないでください。
●モーター部が過熱し、故障や事故の原因になります。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●感電やショートして発火することがあります。

各部の名称

〈付属品〉

本体用壁掛金具

壁掛金具用木ネジ2本

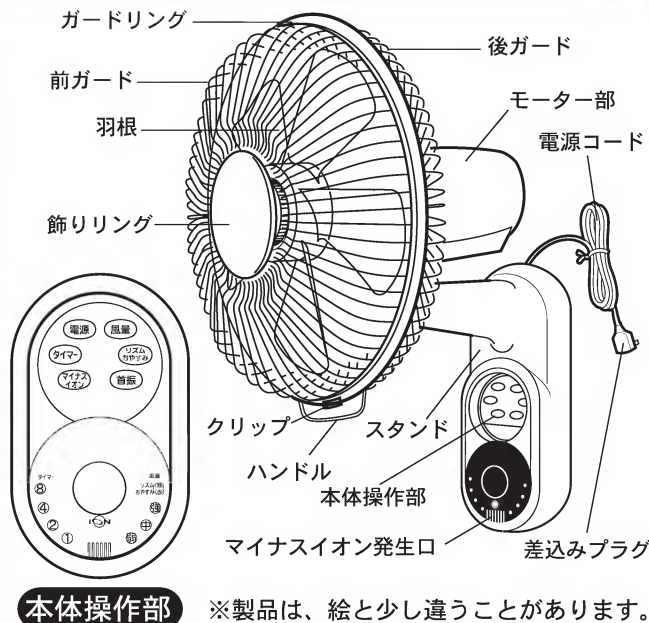
リモコン

電池１個
リチウム電池 CR 2032 DC3V

リモコン収納ケース
本体に収納しない場合は付属の木ネジ2本または、付属の両面テープで壁に取り付けてお使いください。

両面テープ

リモコン収納ケース用木ネジ2本

本体操作部

※製品は、絵と少し違うことがあります。

組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。
●ガード、羽根を取り付けていない状態では、モーター部をお望みの角度(上下)に調節できません。

⚠ 警告

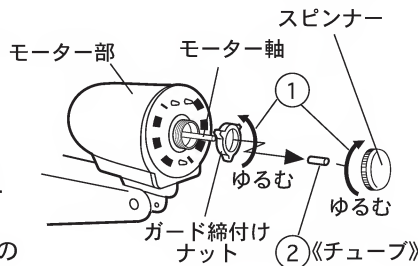
禁　止

組み立て前、あるいは組み立て中に、差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。
●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。

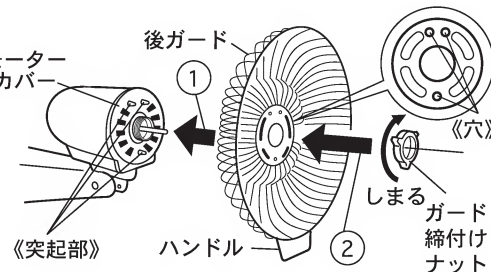
1 モーター部の下記部品をはずします。

① スピンナーとガード締付けナットはモーター部についていますので矢印の方に回してはずします。

② モーター軸の《チューブ》をはずします。(チューブをはずさないと羽根を付けることができません。)

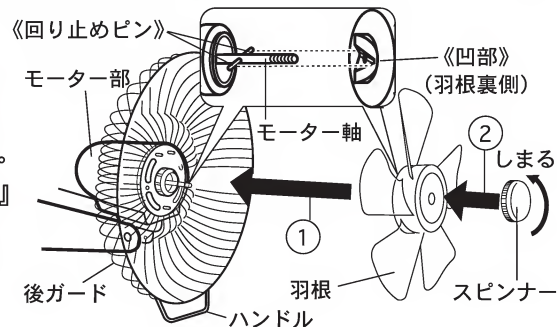
※チューブは扇風機を保管するとき、モーター軸のサビ防止となりますので捨てないでください。

2 後ガードを取り付けます。

① 後ガードのハンドルを下にして、モーターカバーの《突起部》に後ガードの《穴》を合わせます。

② ガード締付けナットを『しまる』の方向に回して、後ガードが使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

⚠警告	ガード締付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。 ●締め付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。

3 羽根を取り付けます。

① 羽根の《凹部》とモーター軸の《回り止めピン》が合うようにして羽根を差し込みます。

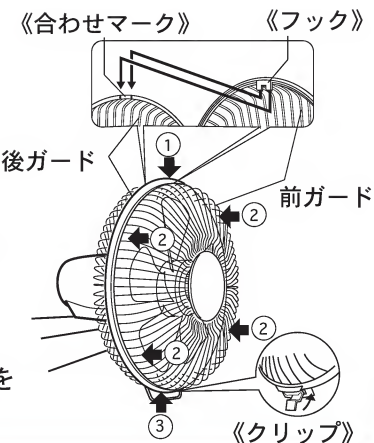
② スピンナーを左回転『しまる』の方向へ回して、羽根が使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

4 前ガードを取り付けます。

① 前ガードの《フック》を後ガードの《合わせマーク》に合わせて掛けます。

② 前ガードを押さえて後ガードの全周をガードリングに確実にはめ込み、固定してください。

③ 《クリップ》は前ガードと後ガードをはさみ込むように確実に止めてください。

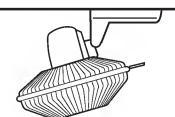
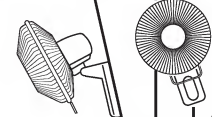
前ガードをはずすときは･･･

●《クリップ》をはずし、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードをはずしてください。

正しい取り付け方

取り付け前のご注意

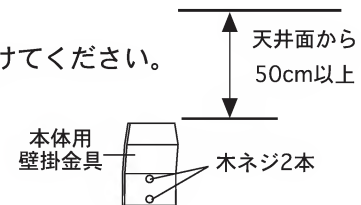
■扇風機は、丈夫で垂直な板壁または柱に取り付けてください。なお壁面が薄い木板(10mm以下)あるいは軟弱な新建材の場合は、必ず裏面に柱あるいは桟(さん)のある丈夫なところに取り付けてください。

禁　止　次のような取り付け方はおやめください。

●天井などに取り付け、真下に向けたりしないでください。

●本体を傾けた状態で使用しないでください。

壁掛金具の取り付け方

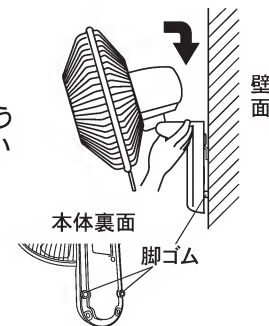
■付属品の本体用壁掛金具を木ネジ2本で壁に取り付けてください。

●本体用壁掛金具は、天井より50cm以上離して取り付けてください。天井面に近すぎますと、ガードが天井面に当り、取り付けができません。

●柱や桟などの堅牢な箇所に取り付けてください。取り付け部が肉薄の板や内側が空洞になっている建材については、振動音が発生する場合があります。

本体の取り付け方

■本体裏面の壁掛用穴に、本体用壁掛金具のつめがはまるように壁面にそって確実に止まるまで引き下げて固定してください

●取り付けの際、電源コードを本体と壁面との間に、はさみ込まないようにご注意ください。

●本体の裏面の脚ゴム(2箇所)がきっちり壁に接触していることを確認してください。接触していないと振動、音が出ることがあります。

使い方

■はじめてご使用になるときは、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■操作は、リモコンと本体の操作ボタンの両方でできます。
■各ボタンを押すたびに『ピッ』という音がします。
■差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態で、操作パネルが少し熱くなりますが、制御回路に微電流が流れているためで、故障ではなく危険もありません。
■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差込んでください。
■差込みプラグの抜き差しは、運転を停止してから行ってください。

リモコンのセットと取り出しかた

■リモコンのセットのしかた

●本体操作部にリモコンを下から上に入れるようにセットしてください。

■リモコンの取り出しかた

●リモコンの下の部分を押さえると取り出すことができます。

リモコン操作上のご注意

■リモコンの送信部をスタンドの受信部に向けて操作してください。
●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。

受信部

■リモコンの送信部とスタンドの受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。

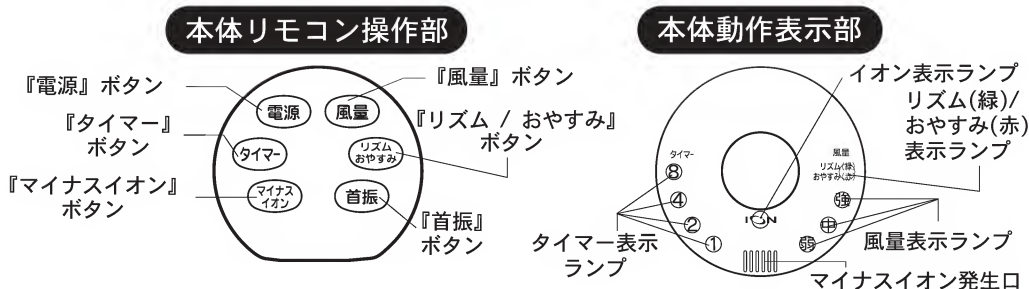
■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
■運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、『切』になりますのではじめから操作し直してください。

ボタンの使い方

本体リモコン操作部

『電源』ボタン
『タイマー』ボタン
『マイナスイオン』ボタン
『風量』ボタン
『リズム / おやすみ』ボタン
『首振』ボタン
電源
風量
タイマー
リズム おやすみ
マイナスイオン
首振

本体動作表示部

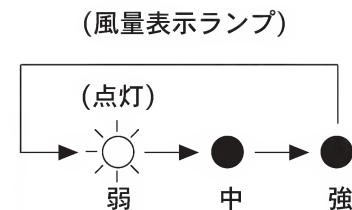
イオン表示ランプ
リズム(緑)/おやすみ(赤)表示ランプ
風量表示ランプ
マイナスイオン発生口
タイマー表示ランプ

■『電源』ボタン

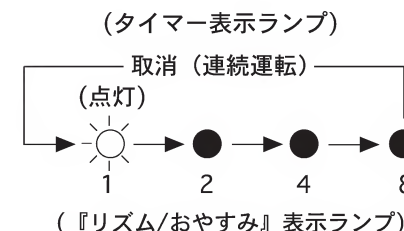
●『電源』ボタンを押すと電源が入り運転状態になります。
●運転中に『電源』ボタンを押すと表示ランプが消え、すべての運転が停止します。

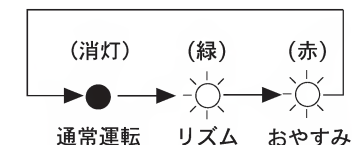
注意 『電源』ボタンを押すと最初に『中』の風量表示ランプが点灯しますが、故障ではありません。

■『風量』ボタン

●押すたびに風量が切り換わり、風量表示ランプが点灯します。

※『弱』『中』『強』どれか一つでも不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止してください。
（例：『強』に不具合が生じたが、『弱』『中』であれば正常に作動する。）

■『タイマー』ボタン（最大 8 時間）※運転中でないとタイマー設定は、できません。

●押すたびにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示ランプが点灯し、タイマーが設定されます。
●時間がたつとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの時間を表示します。
●設定時間が終わるとタイマー表示ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。

■『リズム/おやすみ』ボタン

●運転中に『リズム/おやすみ』ボタンを押すたびに右図のように設定が切り換わります。
表示ランプが緑色に点灯すると、設定が『リズム』です。
表示ランプが赤色に点灯すると、設定が『おやすみ』です。

注意 ※『リズム/おやすみ』ボタンでは、タイマーはセットされていません。
『タイマー』ボタンで、お望みの時間に設定してください。

■『リズム』風量パターン

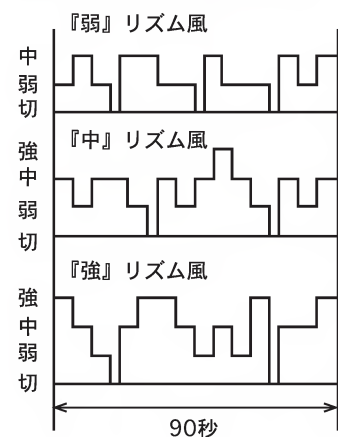
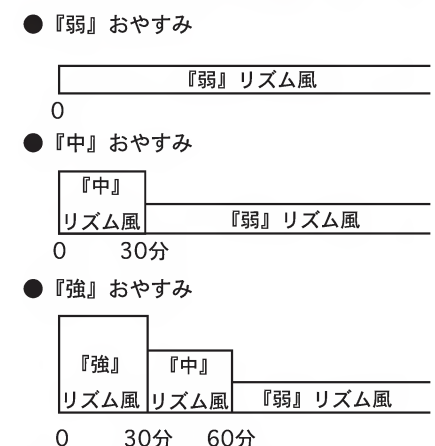
■『おやすみ』風量パターン

● 『弱』おやすみ

『弱』リズム風
0

● 『中』おやすみ

『中』リズム風
『弱』リズム風
0 30分

● 『強』おやすみ

■『マイナスイオン』ボタン

●運転中に『マイナスイオン』ボタンを押すとイオン表示ランプが点灯し、マイナスイオン発生口からマイナスイオンが発生します。
●再度押すことによりイオン表示ランプが消灯し、マイナスイオン発生を停止します。

お知らせ	マイナスイオン発生口からわずかにオゾン臭や放電音がする場合がありますが異常ではありません。

■『首振』ボタン

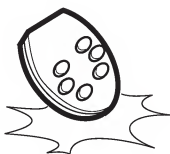
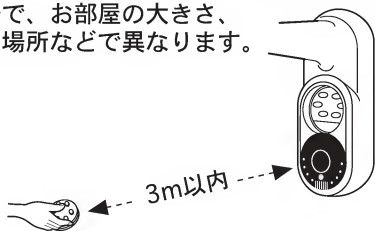
●『首振』ボタンを押すと左右に首振りをします。
●もう一度、ボタンを押すと首振りを停止します。

首振運転中に、無理やりガードを停止させたり、回したりしないでください。

●故障の原因になります。

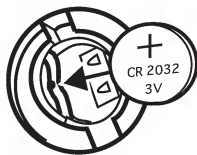
リモコン取り扱いについてのご注意

●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の設置場所などで異なります。

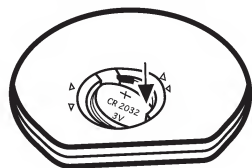
●リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。

※リモコンは、本体のスタンドまたは、リモコン収納ケースに収納することができます。
リモコン紛失防止のため収納することをおすすめします。

電池セットのしかた及びご注意

①リング状の電池フタをコイン等で矢印方向に回してリモコンを裏返すと電池フタがはずれます。

②付属の電池を矢印の方向に差し込んで入れます。
（必ず ⊕ 面を上にすること）

③電池フタで電池を押さえコイン等で矢印方向に回します。

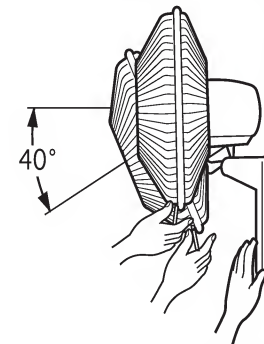
電池交換の仕方

●電池を交換する場合は、電池の端を矢印のように押さえてはずします。
●電池が飛び出すおそれがあるので注意してください。
●新しい電池を用意して電池のセットのしかたと同じようにセットしてください。

ご注意

■電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
■電池は、指定の電池（コイン形二酸化マンガンリチウム電池3.0V、品番CR2032）と交換してください。
■⊕ ⊖をリモコンの表示に合わせて、正しく入れてください。
■電池は、充電、ショート、分解、加熱しないでください。
■電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。ボタン電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
■シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

ハンドルの使い方

■風向きを上下に変えたいとき

●スタンド部分を片手でささえながら、ハンドルを持って、お望みの方向に動かしてください。

無理やり左右に動かさないでください。

●故障の原因になります。

⚠ 警告	禁止	使用中にガードを持って、上下・左右に風向きを変えないでください。 ●ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、けがをするおそれがあります。

お手入れと保管について

お手入れのしかた

●お手入れ前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●羽根、本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で空ぶきしてください。
●マイナスイオン発生口のホコリを掃除機で吸い取ってください。ホコリの付着が多いとマイナスイオンの発生量が低下します。
汚れがひどくなるとマイナスイオンの発生量が少なくなったり、イオン部電極間に放電音がする場合もありますのでこまめに掃除をしてください。
●シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。（樹脂や塗装部分が変色、変質するおそれがあります。）
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。
●長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

保管のしかた

●保管の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●ガード及び羽根はあらかじめ『組み立て方』と逆の順序ではずしてください。
●モーター軸は、よく汚れを取った後、全面にうすくミシン油をひき、もとどおりにチューブをかぶせてください。

●本体や羽根についた油はよくふき取ってください。樹脂が変色したり破損するおそれがあります。
●包装ケースの説明図どおりに包装してから湿気の少ないところに保管してください。

修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
「電源」ボタンを押しても羽根が回らない	●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか？ ●リモコンの電池が古くなっていませんか？
異常音がする	●羽根はしっかりと取り付けていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか?
操作パネルが熱くなる	●操作パネルの中の基板が通電時少し発熱しますが異常ではありません。(使用時以外は差し込みプラグを抜いてください。)

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

●マイナスイオンを発生させる高電圧発生ユニットを使用しています。

修理サービスについて

(1)保証書
●この製品には、保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より1年間です。
(2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
(3)補修用性能部品の保有期間
この扇風機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後８年です。
(4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。
(5)修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。
【製造年】(本体に西暦４桁で表示してあります)

※【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-1による

環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	製品の定格電圧による。
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65％	
	設置	標準設置	機器の取扱説明書による。
負荷条件		定格負荷（風速）	機器の取扱説明書による。
想定時間など	運転時間	8（h／日）	
	運転回数	5（回／日）	
	運転日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振運転の割合	100（％）	
注記　環境条件の湿度65％は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。